

人権学習展開例

●主題名 いじめの背景を考える

●教材名 いじめをなくすために自分ができることは何だろう？
～自分の行動をふり返ろう～

●人権学習の視点 個別的な視点「子どもの人権問題」

●主題・教材について

平成23年の東日本大震災をきっかけに起こった福島第一原子力発電所の事故によって、福島の子どもは、慣れ親しんだ土地からの避難を強いられ、長期間にわたって不安な日々を送らねばならなくなった。文部科学省の調査では、福島第一原発の事故などで福島県から避難した子どもへのいじめは、平成29年3月までに199件あったとされている。本教材を通して、いじめについて深く考え、いじめは許されない人権侵害であることを再確認させるとともに、いじめを自分自身の問題として捉えさせ、主体的に問題を解決しようとする態度を育てたい。

●ねらい

「偏見」や「ねたみ」を理由とするいじめに着目し、他人を排除する心の動きを理解させ、いじめを自分自身の問題として捉え、問題を解決しようとする態度を身につけさせる。

●関連する教材

人権学習資料集＜中学校編Ⅱ＞ 「5 どうして？～「いじめ」について考える～」

人権学習資料集＜小学校編Ⅳ＞ 「6 いじめは残酷だ」

人権学習資料集＜小学校編Ⅳ＞ 「7 いじめの種 ぼくめつ作戦～見つめ直そう 自分のクラス～」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○地震や豪雨災害などが続いていることに意識を向けさせる。	個別	○被害を受けた人の存在を思い起こす。	○被災した生徒あるいは近親者に被災した人がいる可能性も念頭に置いておく。	
	○手記①をじっくり読ませる。		○ワークシートの(1)を考える。	○東日本大震災の被災者であることを確認する。	ワークシート
展開	○筆者を追い込んでいる原因がいじめであることを示す。 ○筆者の気持ちの変化を考えさせる。		○ワークシートの(2)を考える。	○(1)の活動後に、この児童に避難先でいじめにあっていたことを明らかにする。 ○気持ちが「死のう」から「いきる」へと大きく変化した心情的背景を深く想像させる。	

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	「なぜいじめなのか」を考えよう				
	○手記②を読ませる。 ○参考資料①を示し、偏見と差別(いじめ)について考えさせる。	個別	○ワークシートの(3)を考える。	○手記②は手記①の前段部分であり同じ筆者によって書かれたものであることを明らかにする。 ○当事者意識の欠如、無知や先入観等が原因になることを押さえる。	ワークシート 参考資料
展開	いじめを止めさせるために何ができるのかを考えよう				
	○いじめを断ち切るために自分にはなにができるのかを考えさせる。 ○参考資料②を示し、いじめを黙認・是認するのではなく、抑止する存在が必要なことを説明する。		○ワークシートの(4)を考える。	○関心を持つこと、調べること、いじめられている本人やその家族への影響を想像すること、周りに傷ついている人がいないかを考えること等への気づきを促したい。 ○黙認・是認とは、いじめへの無関心や傍観、同調等であることを気づかせる。	
まとめ	○本時の学習を振り返らせる。	個別	○本時の内容を振り返る。		

●評価

いじめを自分自身の問題として捉え、いじめを許さない立場に立つことの重要性を理解し問題を解決しようとしているか。